

持続可能な長寿社会に資する学術コミュニティの構築委員会（第2回）

ジェロントロジー研究体制分科会

議事要旨

日時： 平成22年9月7日（火）10:40～11:40

会場： 日本学術会議 5-A(2) 会議室

出席：大内尉義（委員長）・白澤政和（副委員長）・長田久雄（幹事）・井藤英喜・丸山直記

欠席：北徹・伊福部達・太田喜久子（幹事）・山根源之

資料1 前回議事録要旨（案）

資料2 アンケート資料（長田先生資料）

参考1 委員名簿

議題：

1. 前回議事要旨（案）が確認され承認された。

2. この分科会が行うこととして、

1) 研究体制の全体的把握・研究体制の在り方・研究助成のあり方の3点を提言すること

2) 具体的には、大学における老年学の研究体制の調査をすること

3) 長寿医療センターのような機構を各地域に設置することを提言すること

が確認された。

3. 今後の進め方について：アンケート調査を行い、それも参考にして提言を行うことが確認された。

4. アンケート内容、実施方法、時期などが検討された。

1) アンケート内容は、四年制大学において「学際的老年学」の教育や研究が行われているか、行われていない場合にはその理由に関するものとし、長田が原案を作成することとなった。行われている場合には、資料の提供も求めることとなった。

2) アンケートは全国の四年制大学学長宛として郵送で行い、アンケート用紙の印刷、送付、回収、集計は、白澤委員の研究室が中心となって行うこととなった。アンケート実施者の連名として学術会議の名称を使用することが了承された。

3) 10月上旬に発送し10月中旬くらいまでに回答、返送を求めることとなった。

4) 教育体制分科会との調整も必要なので、アンケートに関して教育体制分科会委員の意見ももらうこととなった。

5)「学際的老年学」という言葉の説明が必要なので、大内委員長が資料を提供することとなった。

5. 次回委員会は11月2日開催予定とする。

資料2：

大学に対するアンケート案(2010.9.7 文責：長田幹事)

1. 貴大学では「老年学」の教育が必要だとお考えですか。
  - 1) はい
  - 2) いいえ→理由
  
2. 貴大学では「老年学」の講義・講座・コース・専攻・専修などを設置しておられますか。
  - 1) はい  
→学部、大学院、  
その内容
  - 2) いいえ  
→理由（人材、経済等の例示）
  
3. 貴大学では「老年学」の研究が必要だとお考えですか。
  - 1) はい
  - 2) いいえ→理由
  
4. 貴大学では「老年学」の研究機関等を設置したり、「老年学」の研究を実施しておられますか。
  - 1) はい  
具体的に
  - 2) いいえ  
理由（人材・経済等の例示）
  
5. 貴大学では、今後「老年学」の組織的な研究（プロジェクト・機構の設置）を行う予定がありますか。
  - 1) はい
  - 2) いいえ

→理由